

名寄市学校給食センター



◆ 名寄市学校給食センターの沿革

名寄市の学校給食は共同調理場として、旧名寄市で昭和41年に、旧風連町で昭和48年に開始。
平成18年3月風連町・名寄市の合併を経て、同年12月に現在の名寄地区の給食センター施設を改修。
平成19年12月からは両地区の学校給食センターを統合し稼働。
現在の給食センター施設は平成3年に旧名寄市で移設改築し現在に至ります。

昭和41年 4月	旧名寄市でセンター方式による全小中学校への給食提供開始 (6,254食)
昭和48年 10月	旧風連町で風連町学校給食センターとして給食提供開始
平成 3年 12月	旧名寄市で現センター完成
平成 4年 1月	旧名寄市で現センターでの学校給食の提供開始
平成 5年 4月	旧名寄市でアレルギー給食提供開始
平成18年 3月	旧風連町と旧名寄市合併により、給食センター改修工事
平成19年 4月	旧風連町学校給食センターと旧名寄市学校給食センター統合・学校給食会統合
平成20年 4月	栄養教諭制度導入(名寄小学校、風連中央小学校配置)

◆ 施設概要

- ・ 名称 名寄市学校給食センター
- ・ 所在地 〒096-0035 北海道名寄市西5条北10丁目54番地6
- ・ 開設 平成3年12月改築(平成4年)
- ・ 改修 平成18年12月(市町合併に伴う)
- ・ 面積 敷地 3,257.75 m² 建物 997.163 m²
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造 一部二階建

◆ 学校給食センターの状況

名寄市の小中学校と智恵文保育所、教職員、給食センター職員を合わせ1日約2,100食、年間約200日間提供しています。

年間献立計画に基づき、米飯と魚が基本の和食型給食の献立を栄養教諭が立案。

加工食品を含む地場産品の活用を意識し、季節の行事食や郷土料理の提供など、安全を図りながら栄養バランスに配慮した献立の提供をしています。

また、平成5年4月より、食物アレルギーを持つ児童・生徒も給食を楽しめるよう、アレルギー食材を除去した代替給食の対応をしています。

◎年間献立計画による名寄産食材の使用予定(一部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
もち米	○											○
アスパラ		○	○									
ピーマン		○	○	○	○	○	○					
きゅうり				○	○							
レタス				○	○							
長ねぎ					○	○	○	○	○			
キャベツ					○	○	○	○	○			
メロン					○							
ミニトマト					○	○						
玉ねぎ						○	○	○	○	○	○	○
じゃがいも							○	○	○	○		
白菜							○	○	○			
寒縮ほうれん草										○	○	

◎給食費

《1食単価》

小学校	低学年(1・2年生)	259円
	中学年(3・4年生)	261円
	高学年(5・6年生)	263円
中学校		308円

◎主食 ※地場産米、小麦(パン)使用

米飯	週4回(2週間8回)
パン	週0.5回(2週間1回)
麺類	週0.5回(2週間1回)

※令和2年度改正

◎職員構成(34名)

(令和4年5月1日現在)

職員		道職員	会計年度職員				
所長	総務係長	栄養教諭	事務補助	栄養士	調理師	業務員	調理員
1	1	1	1	2	2	7	19